

平成27年度第7回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要	
開催日時	平成 27 年 12 月 21 日 16 時 ~ 16 時 30 分
開催場所	小山田記念温泉病院 第3会議室
出席委員	毛受、森、北村、原、山中、伊藤、浅野、家崎、牧野、坂（敬略称、順不同）
新規研究計画の審議	
申請者	浅野 恵
研究名	認知症高齢患者にユニマチード(コミュニケーション技法)を試みて得られる患者・看護師の変化
研究内容 要旨	急激な高齢化に伴い医療の現場には認知症高齢患者が増加している。当院4A病棟でも認知症高齢患者は多く、治療やケアを行なう際、拒否されたり抵抗されたりする現状であった。 ユマニチュードは知覚・感覚・言語を包括したコミュニケーション技法で認知機能が改善された症例が報告されている。今回、ユマニチュード技法を活用し患者が身体・精神的苦痛を最小限にしてケアや治療を受けることができないか
審議結果	承認
参考	本研究は大学病院医療情報ネットワーク研究センター臨床試験登録システム(UMIN-CTR)に登録予定である。
新規研究計画の審議	
申請者	山中 元樹
研究名	当院入院・通院患者に対する歩行支援機ACSIVEの使用効果
研究内容 要旨	歩行機能の低下した患者に対してアクシブを装着しての歩行を行うことで歩行機能を主とした身体機能にどのような変化があるかを検証するとともに、より詳細な適応を明らかにすることを目的とした。
審議結果	承認
参考	本研究は大学病院医療情報ネットワーク研究センター臨床試験登録システム(UMIN-CTR)に登録予定である。
新規研究計画の審議	
申請者	荒木 大地
研究名	座位での下肢・体幹機能評価と歩行能力との関連性
研究内容 要旨	回復期入院患者の機能予後予測はリハビリのゴール設定や入院治療期間の設定に重要である。その中でも歩行は患者の退院後のADL、QOLに大きく関わる因子である。 歩行能力の予後予測を行なう理学療法評価は散見しているが、立位や歩行が困難な患者では評価可能なものが少なく、歩行の予後予測に難渋するケースが多い。そのため、我々は様々な動作能力の患者にも実施可能な座位での評価に着目し、入院時の座位での下肢・体幹機能評価と退院時の歩行能力との関連性を明らかにすることを目的とした。
審議結果	承認
参考	本研究は大学病院医療情報ネットワーク研究センター臨床試験登録システム(UMIN-CTR)に登録予定である。
新規研究計画の審議	
申請者	水野 圭祐
研究名	温泉運動浴利用者における1年間継続した際の身体機能の変化と新規利用者の身体機能の調査
研究内容 要旨	2015年2月に「当院コミュニティープール利用者に対する、利用満足度と心身機能に関する調査」を実施し、利用者の満足度と運動機能、身体特性を把握した。今回は、その追跡調査として、前回の研究対象の中で、1年間継続利用している者を対象として再度調査し、利用者の1年間の身体機能の変化を調査し、今後の運用について考案し、地域の高齢者にコミュニティープールの利用を勧めていきたい。また、新規利用者の身体機能を調査し、今後の身体機能の変化を追跡していきたい。
審議結果	書類審議の結果、承認とした。